

第4学年 総合的な学習の時間 学習指導略案

- 1 主 題 みんなが安心して過ごすために
 2 資 料 名 「どんな工夫ができるかな」(ほほえみ)
 3 ね ら い 一人ひとりが安心して生活できるように、みんなが使いやすい工夫(ユニバーサルデザイン)について考え、よりよい学級づくりをめざす態度を育てる。
 4 人権教育の内容 社会参加の促進3—(2)—イ
 5 本時の展開

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
1 資料を提示したり、範読したりして、困っている場面に気付く。	○ こんな見え方をしたらどんなことに困るかな? <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板の字が見えにくい、どこに何が書いてあるか分かりにくい ・ 段差が上りにくい、つまずきやすい 	○ 児童の気付きが広がるよう、イラストを段階的に拡大提示する。 ○ 本文に書かれていないことも「困り感」を想像させて発表させる。 ○ 困りの原因を多角的に考えられるよう板書で分類する。
2 工夫を考える。	○ どのような工夫をすればこの子は過ごしやすくなるかな? <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板の字を大きく書く ・ 色チョークで強調する ・ 段差にスロープを付ける ・ 教室内の通路を広くする ・ 廊下に案内表示を増やす 	○ 「本人の努力」で解決しようとする児童が多い場合、環境側の課題に視点を向ける発問を追加する。 ○ 分類しながら板書する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリー ・ ユニバーサルデザイン
3 グループで意見を交流する。	○ どの工夫が、君たちにとっても助かる工夫だと思う? <ul style="list-style-type: none"> ・ スロープは、重い荷物を運ぶ時にも役立つ ・ 黒板の字を見やすくする方法は全員にとってわかりやすい ・ 廊下の案内表示は1年生にもわかりやすい 	○ 多数決ではなく理由の質を大切に する。 ○ 自分たちの生活に結び付けて思考するよう支援する。
4 発表し、学級全体で共有する。	○ グループで出た意見を紹介してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「通路を広くする」は、荷物の多い時や走り回ってしまう低学年にも安全につながる。 ・ 「スロープ」は車いすだけでなく、重い荷物を運ぶときにも便利。 ○ 他のグループの意見を聞いて、新たな気付きはありましたか? <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの班にはなかった視点があった ・ 特定の誰かのためではなく、みんなに役立つという考え方がわかった 	○ 単に「よいと思う」で終わらせず、「なぜそれが必要なのか」「どんな困りが解消されるのか」を言語化させる。 ○ 発表を聞く側にも、「理由の聞き方」や「自分との比較」を指導する。
5 振り返りを書く。	○ 今日の学びをどのように生活に生かせる? <ul style="list-style-type: none"> ・ 廊下に物を置かないようにしたい ・ 困っている友達がいたら声をかけたい ・ 自分たちの学校をもっと過ごしやすくしたい 	○ 最後は行動につながる振り返りを意識させる。 ○ 数名の発表者を指名して、学級全体で温かく共有する。